

[別紙①]

1 取組名 縦割班でつながろう

2 ねらい

異学年の友だちと関わり合う中で、温かい人間関係づくりを通して、個人のよさを認め合う心情を育てる。

3 実践内容

(1) 縦割り班あそび

① 1～6年生の全校生で異学年の班編成を行う。

② 1回目は、顔合わせとして自己紹介を行う。

③ 2回目からは、低学年でも楽しめる内容を6年生が中心になって考え、中間休みに縦割り班遊びを月に1回程度行う。



縦割り班あそび

(2) 縦割り班清掃

縦割り班で運動場に集合し、割り当てられた場所の草引きや落ち葉拾いなどをおこなった。高学年が低学年に掃除の仕方を教えながら、関わる姿が多く見られた。

(3) あったか言葉をふやそう

① 縦割り班ごとに温かい言葉を集める活動を行い、全校生に「あったか言葉」への関心を高めた。話し合いの結果、「ありがとう・だいじょうぶ・どうしたの・いいね・いっしょに遊ぼう」などの言葉が集まった。

あったか言葉

じぶんも
ともだちも
たいせつに
することば

- ・ありがとう
- ・だいじょうぶ?
- ・どうしたの?
- ・いいね!
- ・いっしょにあそぼ



縦割り班での話し合い

〔別紙②〕

- ② あったか言葉を使っている児童にシールを配布し、学級ごとに表に貼っていくことであったか言葉の数を見える化して、増加がわかるように工夫した。
- ③ あったか言葉の取組については、ポスターにして校内に掲示した。児童へのフィードバックと共に保護者にもオープンスクール時に取組を伝え、家庭でも言葉づかいや友だちとの関わり方について意識を高められるよう啓発をすすめた。



「あったか言葉」の数をカウントした表と校内掲示ポスター

(4) 「温かい人間関係づくり」につながる主体的な行動（人権プラン発表）

継続的な縦割り班活動や「あったか言葉をふやそう」の取組後にも、学年や異学年交流で人権意識を高める取組を続ける中で、児童が「温かい人間関係づくり」の大切さに気付き、主体的に行動する姿が見られた。

特に、人権プラン発表では、児童たちが自ら人権について考えたことを全校生に発表した。発表後には感想を交流し、あったか言葉やあったか行動のよさを伝え合うなど、児童が日常生活にも生かそうとする主体的な行動が見られるようになった。



全校生へ向けての人権プラン発表